帰ったらあかん！

大阪府からのお願い！「STOP‼災害時の一斉帰宅」

オフィスの清掃をしている人影、机の上に残っている空のペットボトルを拾い後ろ向きで遠くにあるゴミ箱に投げ入れ、掃除を続ける。

大阪の街並み・ビルの外観

大阪〇×商事の看板

大阪〇×商事オフィス通常業務を行う従業員たち

いつもと変わらぬ平和な時間が流れる。

時計の針が正午を指そうとしている。

「ビー！ビー！ビー！ビー！」

突如鳴り響く携帯電話の緊急アラーム、ざわつく社内

携帯画面：緊急速報（エリアメール）「緊急地震速報　大阪府で地震発生、大きな揺れに備えてください（気象庁）」の文字。

携帯電話を凝視する男性社員

直後に大きな揺れ（ガタガタガタ）机の上のものが崩れ落ち

パニックになる社内

椅子から転げ落ちる男性社員、

コップが落ちて割れる

机の下に潜り込む社員たち

ガタガタガタ・・・・・

しばらくして揺れは収まる。地震で社内は散乱

その場から動けなかった社長

目をゆっくり開く女性社員

立ち上がり社内を見渡す男性社員「おさまったで」

男性社員「大丈夫か」

男性社員「テレビやテレビ」とテレビをつける

流れる地震速報。

テレビの中のアナウンサー「番組の途中ですがここで地震速報をお伝えします、１１時５８分ごろ、地震がありました。震源地は大阪府北部、震源の深さは約１５キロメートル、地震の規模はマグニチュード７．８と推定されます。なお、この地震による津波の心配はありません。引き続き余震に警戒してください。繰り返します・・・」

テレビに釘付けになる大阪〇×商事の社員達。

社長「えらいこっちゃぁ」

社長に詰め寄る社員達

男性社員「社長、僕、家が心配なので帰らせてください。」

女性社員「私もお家が心配なので帰っていいですか。」

決断する社長「よっしゃ！みんな気を付けて帰るんやぞ。」

女性社員「はい！」

男性社員「社長、ありがとうございます！」

女性社員「ありがとうございます。」

帰り支度をし、帰ろうとする社員達「じゃあお先に帰ります。」

そこに鳴り響く女性の声

おばちゃん「帰ったらあかん！」

声のする方に振り向く社員達

その先に立っていたのは大阪〇×商事清掃係の名物おばちゃん。

手には【STOP一斉帰宅】と書かれたチラシを持って、従業員達を制止する。

※（大阪府が発行している災害時一斉帰宅防止喚起チラシ）

困惑する一同。

男性社員「なんで帰ったらあかんの？」

一斉帰宅防止喚起チラシを片手に説明していく清掃係のおばちゃん。

おばちゃん「よう聞きや、災害時にみんなが一斉・・・・・」

話に割り込む男性社員

男性社員「せやけど家が。」

おばちゃん「ええから座るんや！」

男性社員「はい」と押し負けて椅子に座る

テレビを指さし、おばちゃん「テレビ見てみい、全線運行停止言うとるわ。」

テレビ画面「大阪府で震度７　全線運行見合わせ」の文字。

※バックにアナウンサーの声あり「今回の地震の影響を受けて、府内の鉄道は全線運行を停止しております。現在復旧の目途はたっておりません。」

おばちゃん「しかもみんなが慌てて帰ったら交通網は完全にパンク、せやから今出ても家に着くのはいつなることやら。」

納得する社員達。

大きな声で説明するおばちゃん「基本原則・むやみに移動を開始しない！」

【グラフィックとナレーションによる詳細説明。】

おばちゃんのナレーション（歩道から車道に溢れる人々、通れなくなる緊急車両、将棋倒し、落下物、建物の倒壊のイラスト）

　「その行動は、他人の命にもかかわるんやで！

　　今、みんなが一斉に帰ろうとしたら、車道に人があふれて、救急車や消防車が通れんようになる。１分１秒をあらそう救命活動が遅れる。被害にあった人の中にあんたらの家族もおるかもしれへんのやで！もちろん、余震があるかもしれへんから、あんたらの命もあぶないんや！！せやから今は動かず、まずはここで安全確保や！！」

社長に詰めよるおばちゃん。

おばちゃん「社長、これはあんたの仕事やで！」

気まずそうにうなずく社長。

踵を返しおばちゃんが社員達に説明を続ける。

おばちゃん「災害が起こった時間帯によっても行動パターンは変わってくるんや」

【グラフィックとナレーションによる詳細説明。】

おばちゃんのナレーション

「時間帯別行動パターンのルール化！社内で発災時間帯別の行動ルールを決めて、みんなで共有しとくんや！

通勤途中で災害が起こった場合、家の近くにいるときは家に、会社の近くにいるときは会社に戻って安全確保！社内におるときはその場で待機！

従業員任せにしたらあかんで！

それから、お客さんにも社内の安全な場所で待機してもらったほうがええな。」

社長に詰め寄り

おばちゃん「社長、これはあんたの仕事やで！」

社員達が社長を見る

申し訳なさそうに頭をかきながら苦笑いする社長

おばちゃんに尋ねる女性社員。

女性社員「じゃあ私達の場合はこの後どないしたらええの？」

おばちゃん「今日はここに泊まった方がええやろな。」

女性社員「え！？食べ物はどうすんの？」

おばちゃん「ついといで」

おばちゃんが倉庫の扉の方へ、社員たちを誘導する

倉庫の扉を開け大量の非常食と飲み水を見せ

おばちゃん「大丈夫や、ちゃんと３日分の食料と飲み水は確保してある。」

おばちゃんの後ろから覗き込み感心する社長と社員達。

社長「いったい誰が用意したんや？」

おばちゃん「わたしが事前に用意しておきました。」

【グラフィックとナレーションによる詳細説明。】

おばちゃんのナレーション

「備蓄は最低３日分！なぜなら災害が発生してから３日間（72時間）が、人命救助のデッドライン。救助活動が最優先や。

一斉帰宅が救助活動の妨げにならんように、その間はできるだけ事務所で待機や。

人間１人が１日に必要とする水は３リットル、食事は３食分。これを目安に準備しておくこと、ここは大事なところやからメモっとき、あっスクショでもええわ。

カメラの撮影音「カシャッ」

さらに、災害が起きた時に来所中のお客さんがいるかもしれんから、そういった人たちの安全を確保するための待機スペースや備蓄も準備できたら会社としては１００点やな。」

※　備蓄の目安の説明の中に、準備しておく食料の例として「アルファ化米」「クラッカー」「乾パン」「カップ麺」、また、毛布や保温シートは一人あたり1枚が目安である旨の記載有り。

メモを取る社長（オフィスに戻る）

社長をおいかけ、睨みつけるおばちゃん

おばちゃん「社長！これはあんたの仕事やで！」

小さくなる社長「は、はい。」

男性社員「せやけどやっぱり家のことが心配やなぁ。」

おばちゃんが携帯電話を差し出す。

おばちゃん「これ聞いてみぃ」

男性社員、電話を受け取り耳に当てる

電話から聞こえる妻の声「うちと子供らは大丈夫やから安心してな。」

男性社員「嫁はんの声や！よかったー・・・・・」

おばちゃんが社長の横を通り過ぎながら

おばちゃん「全社員の家に災害用伝言ダイヤルの説明文を郵送してたんや」

社長「いつの間に・・・・」

おばちゃん「あんたがボーッとしてる間や！」

ビクッとする社長

【グラフィックとナレーションによる詳細説明。】

おばちゃんのナレーション

「大切なんは複数の手段を用意しておくこと！

　災害時は、電話やメールがつながりにくくなるから、それ以外の手段を準備しとかなあかん。災害用伝言ダイヤルの他に、たとえば、ＳＮＳは災害時でもつながりやすいんや。東日本大震災や熊本地震でも役に立ったらしい。

日ごろから家族との連絡ツールとしてＳＮＳでつながっておくのも有効や！」

※　災害伝言ダイヤル（１７１）の説明の記載有り。

　・災害伝言ダイヤルとは、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです。（災害時に限定して利用が可能）。

　・使用方法

　　①　「１７１」をダイヤル

　　②　【録音の時】１．「１」をダイヤル

　　　　　　　　　　２．自分の番号をダイヤル

　　　　　　　　　　３．録音する

　　　　【再生の時】１．「２」をダイヤル

　　　　　　　　　　２．相手の番号をダイヤル

　　　　　　　　　　３．再生する

　　　災害時以外にも体験利用日（毎月1日及び15日など）が設けられています。

　　　体験利用で操作の確認をしておきましょう。

　※　SNSによる家族とのメッセージのやりとりの例文の記載有り。

　　　・「みんな大丈夫？」「何とか大丈夫だよ」

　　　・「無事です。」「良かった連絡つながって」

おばちゃん「このほかにも、日頃から地域の防災活動などに参加したり、災害時は救助活動、被災者支援、復旧活動へ参加して、地域の一員として助け合いを忘れたらあかんで！過去の災害でも、ご近所さん同士の助け合いで多くの命が救われてる。困ったときの助け合い！これも忘れたらあかんで！」

社員一同「おう！」

おばちゃん社長の前まで行き、大きな声でおばちゃん「社長、これはあんたの仕事やで。」

背筋を伸ばし大きな声で社長「はい！」

社長の周りにグラフィックで説明があった４つのポイント「安全確保」「時間帯別ルール」「３日間の備蓄」「安全確認手段」の文字。

その画面にタイトル、

「大阪府からのお願い　STOP！災害時の一斉帰宅」の文字

（画面の右端がめくれ小さくなったおばちゃんが出てくる）

おばちゃんのナレーション

「大阪府からのお願い、STOP！一斉帰宅。みんなの意識でこの街護ろう」

「詳しいことは、大阪府帰宅困難者対策のホームページに書いてんで」

検索バーが出てきて大阪府ホームページへ促す。

キーワードは「大阪府　帰宅困難者対策」。検索ボタンをクリック。　　　　　　ＥＮＤ